

第2回定例会
9月議会

市役所新庁舎整備候補地に関する決議

全会一致で可決

全庁挙げての早急な整備を求める

令和元年第2回定例会9月議会が9月6日から10月15日まで開かれました。市役所新庁舎整備候補地に関する決議や難病患者の医療費助成制度の改善を求める意見書提出のこと、監査委員選任の人事案件など、議案17件を可決・同意、報告7件を了承、請願1件を採択、また、平成30年度決算14件を認定しました。

10月15日の本会議では、市役所新庁舎整備候補地に関する決議を全会一致で可決しました。これは現在地を整備場所として、早急に事業を進めることを市長に求める議会の意思を表明したものです。



現在地での建て替えを決議

26日の委員会では、市から明石駅周辺は事業費および期間等に課題が、また、分散配置は市民の利便性や業務の効率性等に課題があるため候補から除外して検討するとの報告がありました。

これを受けて委員会は、新庁舎の整備費用の財源確保に有利な国の財政支援メニューを活用できる

期限が迫っていることから、早急に結論を出す必要があるとの考えをまとめました。一方、J.T跡地への移転には、議員の3分の2以上の賛成が必要となり合意形成に時間がかかることから、これらの状況を総合的に判断し、多様な市民意見を代弁する議会として歩み寄り可能な候補地は現在地であるとし、全委員の賛成により現在地で新庁舎整備を進めることを決定しました。

なお、決議では市長に對して、整備場所の決定とともに、防災面や市民参画に對する配慮などを行い、全庁挙げて早急に新庁舎整備に取り組みことを求めています。



明石公園で行われた市制施行100周年記念行事(左下:明石薪能)(中央:ひょうごまちなみガーデンショー)

待機児童解消の取り組み さらに2千人の受入枠拡充へ 議会でしっかりと審議

文教厚生常任委員会では、待機児童解消に向けた取り組みについて報告がありました。

本市は平成28年度以降、約3700人の受入枠を拡充してきましたが、就学前人口や保育所利用希望者の大幅な増加により、今年4月1日現在で412人の待機児童が発生しています。そのため今年

度から2年間で、さらに2千人の受入枠拡充計画を立て、さらなる取り組みを進めるとしています。

公園を活用した保育所として、中崎遊園地、松が丘公園、上ヶ池公園の3カ所の整備を行うことや、早期開園を促進するため、来年10月までに開園する保育所に対して施設整備費の上乗せ補助を行うこととしています。

また、公立幼稚園のさらなる活用として、幼稚園給食の実施、余裕教室のある園を活用した幼稚園内小規模保育所の設置、幼稚園を連携施設とした小規模保育所の設置、ニーズのある園で朝夕の預かり保育の時間を延長、3歳児保育の拡充を行うとの方針が示されました。

委員からは、公園のある地域に説明を行ったのかとの質問があり、市からは、まちづくり協議会に説明を行ったが、今後は自治会や近隣住民、利用者にも理解を求めているとの答弁がありました。

また、他の委員からは、これら待機児童の解消に向けた事業は多額の予算を伴うものであり、議会での予算審議を行う前に市民に事業実施の方針が示されたことはいかがなものかと質問があり、市からは、来年度の園児募集等の時期に合わせて市民に告知したが、事業実施に係る予算については、来年度予算提案の段階で、しっかりと議会で審議し、判断いただくと答弁がありました。

もくじ	2	市政を問う 21人が登壇 一般質問・質疑	6	昨年度の予算執行をチェック 平成30年度決算を認定	2	市議会100年のあゆみ
	4	要望や意見を市議会に伝える 請願・意見書	8	各議員の議案に対する賛否を掲載 議案の賛否一覧	4	夏休み小学生議会体験ツアー
	5	今年度の重点課題は 委員長に聞く	1	これからの100年に期待すること	4	高校生議会のお知らせ

マチイロ
市議会だよりを
スマホで読める

※利用にはアプリのダウンロードが必要です。